

「産業社会と人間」4月12日スタートアップ

令和6年度の1年次生「産業社会と人間」の授業がスタートアップしました。

この授業は将来を見据えた先にある「なりたい自分」の自己実現に向けた自分自身の事を深く考え卒業後の社会生活に必要な能力と態度を育成することを目的にしています。



また、世の中の変化や出来事を理解しながら「自ら学び、自ら考え、自ら行動する力」を身に付けていけた人材を育成していく授業でもあります。

初回の今日は、5時間目に総合学科1年次生徒120人全員が伊吹ホールに集い。担当の先生方を紹介した後、総合学科部長の大野宏先生が講師となり「産業社会と人間」全体のガイダンスや年間学習計画の紹介、そしてテキストを活用した第1回目講義の「産業社会と人間ってなんの授業？」を受講しました。

6時間目は4月23日に実施される第1回基礎学カテストに向けて、各クラスに戻り一般常識ドリルと自主学習ノートを活用して問題演習を各自で行いました。



「産業社会と人間」での学びを機に、時代が変化しても10年後、20年後先に大きく羽ばたける力を身に付けてくれることを期待しています。